



P2~3 令和5年度 一般会計決算

P4 決算特別委員会質疑

令和5年度 決算審査報告

P5~10 令和6年度 第5回定例会

一般質問 7名11件

P11 政策要望書をまちへ提出

P12 この人に聞く

卓球で全国大会に出場

河野 楓花 (このの ふるか) さん

カニ、釣ったどー

10月6日、快晴の空の下「第43回えりも海と山の幸フェスティバル」が開催されました。

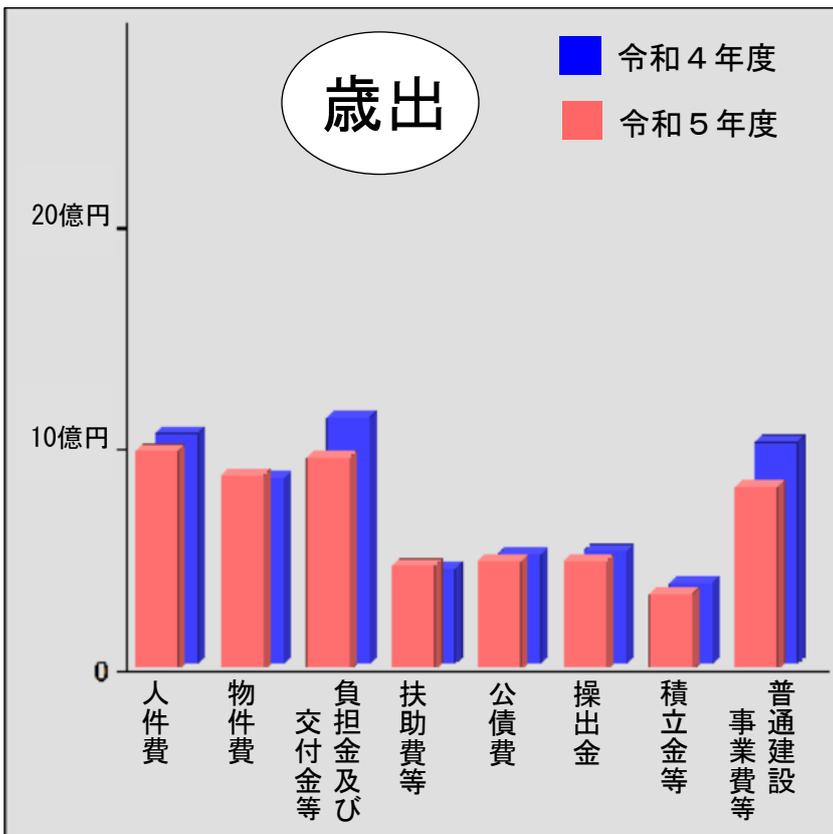
サケの不漁により、サケのつかみ捕りは中止に。かわりに初の試みとなる「オオズワイガニ釣り大会」が実施され、四苦八苦しながらも上手に釣る参加者も。今後のサケの漁獲回復を期待します。

前年度と比べどのような変化があったのか検証してみました

一般会計歳出を前年度と比較すると 約3億1800万円減少

令和4年度 歳出 57億9883万円

令和5年度 歳出 54億8063万円



減少の理由は

左のグラフから人件費と負担金及び交付金、普通建設事業費等が減少しているのがわかります。(1万円未満四捨五入)

人件費 5066万円減少

職員の給料及び報酬 2113万円
退職手当組合負担金 ▲6930万円

負担金及び交付金等 1億5036万円減少

東部消防組合への負担金
小型動力ポンプ付積載車購入等 3238万円
映画製作負担金等 ▲3979万円
エネルギー価格高騰対策重点支援事業等 ▲7080万円
ふるさと納税お礼の品 ▲6069万円

普通建設事業費等 1億7165万円減少

水産物荷さばき施設整備補助金 1億2760万円
えりも小学校給食施設増築 4622万円
高校通り線改良 6362万円
咲梅覆道補修等 3229万円
防災行政無線整備 ▲3億9369万円
中学校グラウンド改修 ▲9350万円

歳入・歳出なぜ減少



えりも漁業協同組合 えりも岬水産物荷捌施設

えりも岬水産物荷さばき施設建設の大型事業やえりも小学校給食施設増築があったが、防災行政無線の整備完了、中学校グラウンド改修終了やコロナ給付金の減少などにより、歳入・歳出が減少したと思われる。

令和5年度一般会計及び6特別会計の決算を認定しました

一般会計歳入を前年度と比較すると **約2億8700万円減少**

令和4年度 **歳入 58億6579万円**

令和5年度 **歳入 55億7904万円**

減少の理由は

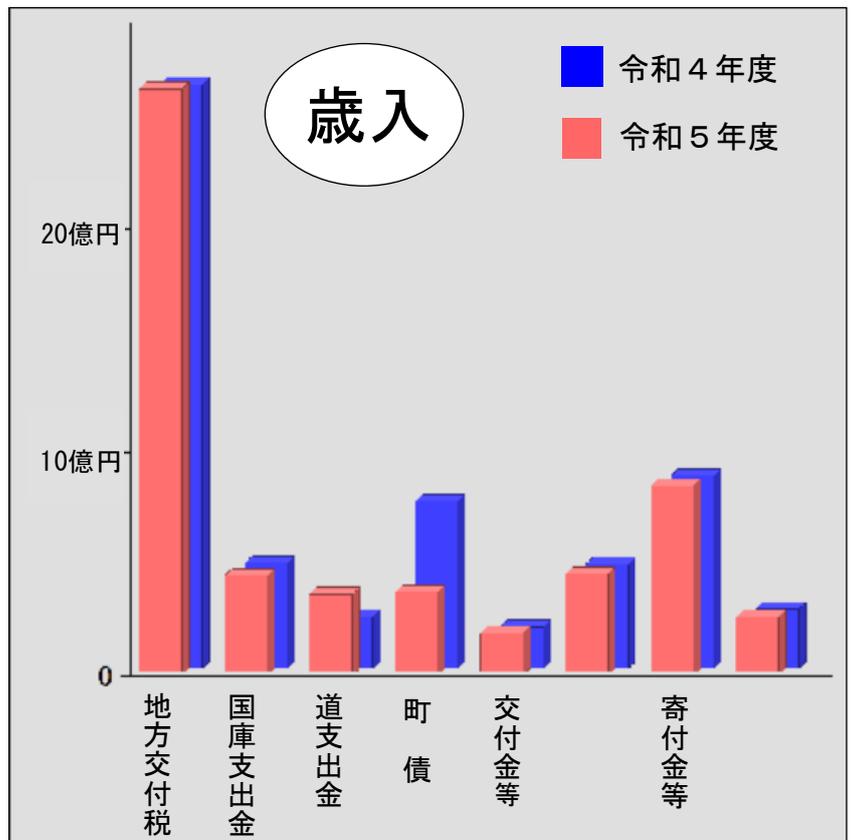
右のグラフから道支出金が増加している一方、町債が大きく減少しているのがわかります。
(1万円未満四捨五入)

道支出金 1億3199万円増加

水産物荷さばき施設整備補助金
1億2760万円

町債 3億7675万円減少

防災行政無線整備 ▲3億9360万円



**町の貯金(積立金残高)
34億1744万円**

預け入れ(積立)は3億2592万円、引き出し(取崩)が3億5386万円で、2794万円減少しました。

**町の借金(町債残高)
51億6675万円**

前年度は2億7681万円増加しましたが、今年度は借入(町債発行額)が3億7454万円、返済(元金返済)が4億7193万円で、差引き9739万円減少しました。

貯金・借金 ほかの町は

日高管内7町 町債・積立金残高

令和4年度	町債残高	積立金残高
えりも町	53億円	34億円
様似町	63億円	20億円
浦河町	100億円	33億円
新ひだか町	185億円	44億円
新冠町	54億円	24億円
日高町	125億円	21億円
平取町	77億円	22億円

(1億円未満四捨五入)

令和5年度

決算特別委員会 質疑

令和5年度
決算特別委員会委員長
神田 修 議員



委員長

《質疑内容を抜粋し掲載》

再生可能エネルギー

質疑（橋本）

町内の風力・太陽光発電は何基か。また、固定資産税の徴収実績は。

答弁（税務課長）

風力は31基で太陽光は35か所。徴収実績は概ね、風力が945万円、太陽光は463万円である。

タブレット端末の更新

質疑（高松）

小・中・高校のタブレット端末の更新が数年以内に始まると思うが、全額公費で賄うのか、保護者の負担が伴うのか。

答弁（教育長）

えりも高校は町立のため、全額町負担で考えている。また、小・中学校も財政は厳しいが町負担で前向きに検討している。

末期患者の対応

質疑（竹内）

最後はえりも国保診療所で看取りたいという家族があるが、昨年度の相談件数と措置（入院）件数は。

答弁（診療所事務長）

昨年度は5件の相談があり、全員入院措置を行っている。

埋立処分場の管理

質疑（高松）

木材や廃プラが山積し、通路がかなり狭くなっているが、適切な処理がされているか。

答弁（町民生活課長）

破砕機が故障し処理が遅れたことがあったため、早急に処理するよう委託先に指示をした。

水道の地震対策

質疑（石川）

水道の地震対策と停電対策は。

答弁（建設水道課長）

耐震化済みの水道管は約20%弱であり、年次計画で耐震化を進めている。各水道施設には、停電に備え発電機を設置している。

監査委員、決算審査結果を報告

えりも町監査委員 小関 孝雄
えりも町監査委員 上野 陽司

○財政の推移及び収支の状況

《決算審査意見書の中から一部抜粋し掲載》

令和5年度の決算額は、前年に比べて歳入4.9%、歳出5.5%がそれぞれ減となっている。

要因として、歳入は、ふるさと納税寄付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減少、歳出は、えりも中学校グラウンド改修や防災行政無線の事業完了によるものである。

○収入未済額について

令和5年度末の収入未済額は9924万円であり、前年度と比較すると553万円、5.3%の減となった。

また、各特別会計を含めた収入未済額は2億7839万円であり、1040万円、3.6%の減となっている。

※収入未済額とは、予定される収入金額のうち、期限までに納入されなかった金額

○総括

人口減少や少子高齢化の問題等に加え、近年では気候変動がもたらす産業への影響や大規模災害など新たな課題が発生している。これら多様化する課題は、当町にとって厳しい行財政運営が続くことが予想され、これまで以上に効率的、効果的な行政運営に取り組み、健全な行財政運営に努めていただくことを期待する。



えりも町議会 第5回定例会

補正予算

◎令和6年度
一般会計(歳出)

・高齢者等冬期生活支援金
160万円

福祉灯油事業として住民
税非課税の高齢者世帯等
に1万円を支給

・小学校施設維持費

700万円

えりも岬小学校グラウン
ドの法面が7月末の大雨
で崩れたため修繕や排水
改良工事を実施する費用

人事

・えりも町教育委員の選任

東洋

藤井 祐二(64歳)

新任

えりも岬

川崎 尚子(69歳)

再任

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

一般質問



上野陽司議員

問 アベヤキ川の土砂対策を

答 砂防ダム管理者の 北海道へ要望する

【上野】 本年7月28日
日から降り続いた大雨により、アベヤキ川の砂防ダム内の土砂が大量に流れ出し、その土砂が笛舞側の海岸に堆積して、昆布が根腐れをおこし、大量に抜け

てしまった。過去にもこのような事例があり対策が必要ではないか。砂防ダムに堆積した土砂の除去・搬出は、いつどのような状況で実施しているか。

【答弁】 管理者の北海道は、月に1回以上の通常点検と悪天候後の点検も行っている。

例年、渇水時期となる2月か3月に砂防ダムの背後の河道幅を確保するための土砂の除去作業を実施している。今回の土砂の流出状況を踏まえ、例年以上の河道掘削を要望する。

【上野】 大雨が予測される場合、事前に土砂の除去ができるか。

【答弁】 道は、現状では業者の手配や重機の確保、安全面なども考慮すると、事前の対応は難しいとのこと。

あるが、今後、町として要望する。

【上野】 町として事前対応はできないか。また、結果的に大量の土砂が海に流出している状況であり、砂防ダム以外の防止策は。

【答弁】 町単独の事前対応は、道と協議し作業ができるよう進めていく。

ほかの防止策として、二つ目の砂防ダムの計画を道と協議したが、アベヤキ川の区域内を調査した結果、1基あれば足りるとい調査結果であり、いろいろな方法を模索していく。



大雨で増水したアベヤキ川



大場文裕議員

国立公園の 今後の取り組みは

問

環境整備に向け 準備を進めている

答

【大場】 道内では37年ぶり、7か所めとなる「日高山脈襟裳十勝国立公園」が誕生したが、のぼり旗や横断幕を制作して以降、えりも町を含め日高管内の自治体から国立公園に関するイベントや企画

の話が一向に聞こえない。

十勝側の6市町村は、早くから観光連携協議会を作り、日高山脈の魅力のPR活動が新聞やニュースにも取り上げられているが、日高管内7町の取り組みは、

【答弁】 日高管内では、国立公園化に特化した協議会などの組織は作られておらず、7町揃っての記念行事やイベントの計画はない。

今後、各町村がそれぞれ記念行事やイベントを行うものと考えている。
【大場】 日高・十勝13市町村で連携したイベントの企画は、

【答弁】 本年8月に13市町村と環境省や国の関係機関、十勝と日高の山岳連盟などで構成する「日高山脈襟裳十勝国立公園協議会」が設立された。
今後、国立公園とし

てのビジョンや管理運営方針や行動計画などが作成されると考える。

【大場】 えりも町独自の企画や取り組み、受け入れ環境の整備は、

【答弁】 10月には町主催の「猿留山道を歩く会」が予定されており、国立公園のPRを積極的に行いたい。

環境整備は、襟裳岬駐車場の案内看板の更新、風の館など施設の改修、百人浜オートキャンプ場や悲恋沼遊歩道の再整備、豊似湖周辺の整備など課題が山積しており、来年度予算に向けて現在準備を進めている。



秋空の下、道内各地から32名が参加した猿留山道を歩く会

【嵯峨】 令和9年度に開設予定の認定こども園は、中央保育所も園舎として運営する計画だが、津波浸水区域であり大変危険と感じている。

歌別川河口の第一波到達時間が27分と予想されているが全員を避

難させることができないか心配である。

今後、園舎の新設を考えているか。

旧えりも小学校跡地に建設できれば幼児小連携にとどまらず、小中、

中高一体となった「えりもの子はえりもで育てる」の理念にマッチした学園地域ができると思う。標高も22・4mあり安心して子どもを預けることができるが。

【嵯峨】 未満児の避難方法はどの様になっているか。

【答弁】 保育所山側の避難道を徒歩で登り、第一避難場所の高台を指し、未満児は職員がおんぶや抱っこにより対応している。

高台までの目標到達時間は10分に設定しているが、全ての子どもが第一避難所に到達するまで夏場で約6分、冬場で1く2分多くかかっている状況である。
高台からはバスに乗車しえりも高校、または清掃センターに避難して完了となる。

問

認定こども園の これからは

答

保護者と議論を深め 決定する



嵯峨直樹議員

年明けの「えりも町子ども・子育て会議」において議論を深め、総合的に判断する。



未満児をおんぶして高台を目指す避難訓練の様子



橋本維応議員

避暑地としての活用を

問

避暑を活かした取り組みを検討する

答

泊5日の日程で合宿を実施した。顧問が以前よりも高校に勤務し、現在も町内のバレーボール関係者と親交があるため合宿先に当町を選んだ。

宿泊は、西えりも生活館と歌別生活館を使用した。合宿中に高校生が地域のスポーツ少年団と技術交流を行うなどの理由から、生活館の使用を許可した。

【橋本】 合宿地として高校等に向けて、町からアピールや誘致をしては。また、合宿先に旧東洋小を活用できないか。

【橋本】 当町は、他地域と比べ夏が涼しいため、避暑地として活用できないか。

夏に町外の高校が合宿に来ていたが詳細は。

【答弁】 札幌西陵高校の男女バレーボール部28名が、8月7日から4

【橋本】 「避暑」をPRして関係人口が増えれば、百人浜キャンプ場や保養施設ちゃっぷの利用者も増加するのでは。

【答弁】 昨年の夏は最高気温は28度と真夏日は一日もなく、当町の夏の涼しさは貴重な財産であり、これを活かすことは重要と考える。キャンプ場やちゃっぷの活用も含め「避暑」

を活かした関係人口創出の取り組みを早期に検討したい。



高校の合宿にはえりも中バレー部と町内バレー関係者も参加した。

【橋本】 えりも高校の生徒数は年々減少し、存続が危ぶまれている状況である。生徒数の推移と、他地域からの入学生徒数は。

【答弁】 過去5年の入学生徒数は、えりも中学校から119人（年平均23・8人）、管内中学校から6人（同1・2人）、他管内から1人（同0・2人）である。

町外から入学生が少

ない主な理由は、通学の利便性によるものと考えている。

【橋本】 特色ある学科の設置の考えは。

【答弁】 えりも高校のような普通科は、文理探究学科や静内高校の単位制、浦河高校の総合学科などへの転換に限られている。水産学科等の設置は、物的なハード面整備や教員人事の面から、極めて難しいと考えている。

えりも高校の今後は

生徒数減少を踏まえ様々な方策を検討

答

【橋本】 遠方からの生徒受入れがなければ、生徒数増加が見込まれないと思うが、町外からの生徒増加に向けた計画はあるか。

【答弁】 今後、小中学校の児童生徒数の減少は避けられず、2年前より「えりも高校の未来を考える会」を発足し、教育応援プランとそのPRパンフレットを作

多様な進路が実現できている「えりも高校」



成するなど、町民や様似町への周知をしてきた。

また、近隣町からの入学生を増やす対策として、平成27年度から通学定期券の半額補助を実施している。

なお、えりも高校の存続は、生徒数の推移から来年度を目的として、通学方法や通信講座の検討、道外募集等にかかわることも含め、対策について協議検討したいと考えている。



中野公浩議員

問 地球温暖化の防止活動を

答 ゼロカーボン実現のため 多角的に検討する

【中野】 地球温暖化が深刻な問題となる中、当町は「ゼロカーボンシティ宣言」を公表した。

ふるさと納税の使い道に「地球温暖化を防止する活動」という項目を加え、その寄付金を漁協が行う雑海藻駆除による昆布を増やす事業や植樹活動の拡大に活用できないか。

【答弁】 ゼロカーボンシティ宣言の公表もあり、項目の追加は前向きに検討したい。

寄付金の活用は、雑海藻駆除の事業主体である漁協の意向を踏まえて今後の取り組みを進めていきたい。

また、旧肉牛牧場の分収造林事業は、施工面積などを検討する余地はありと考える。

【中野】 風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーによる公共施設等の脱炭素化を促進する事業への活用は。

【答弁】 既存の公共施設に再生可能エネルギーを活用することは、風力発電では騒音の問題があり、公共施設や民家のそばへの建設は難しい。太陽光発電でも

当町は強風が吹くため、施設の上部にパネルを設置することは困難と考える。

しかし、脱炭素化を促進するという観点から、公共施設の建て替えや新設の計画がある場合には、活用を検討したい。



ゼロカーボンを目指すためにブルーカーボンとグリーンカーボン事業は大切である

問 海と山の幸フェスティバルで オオズワイガニの活用を

答 サケの確保が難しい場合に活用を検討

【中野】 10月に海と山の幸フェスティバルが行われるが、今年度もサケの不漁が予測されているので、つかみ捕りのサケの確保が難しいのではないかと。

【答弁】 当町で漁獲されるオオズワイガニのつかみ捕りを検討してはどうか。

また、会場内でオオズワイガニの販売や味噌汁の提供もできると思う。

オオズワイガニを広く周知できるだけでなく、新しい試みでもあるので集客も期待できるのでは。

【答弁】 ここ数年、様々な要因でサケの不漁が続く、海と山の幸フェスティバルでもつかみ捕り用のサケの確保に苦労してきたが、サケ定置事業者や漁協などの努力によりメインイベントであるサケのつかみ捕りを実施してきた。



今年の「海と山の幸フェスティバル」では「オオズワイガニ釣り大会」が行われた

現在、定置部会にサケの確保をお願いしているが、難しいようであれば、オオズワイガニを活用した催しや提供を検討している。

町としても、赤潮発生以降、沖合漁業の救いとなったオオズワイガニを積極的にPRして、魚価対策につなげていくことが重要であると考えている。



高松亮裕議員

問 不登校支援員の配置を

答 制度の詳細を見きわめ検討

【高松】 不登校児童生徒は、令和4年時点で北海道の公立小・中・高校を合わせ、直近5年間で2倍に増加して

いるが、不登校の現状と対策は。

【答弁】 昨年度小・中学校合わせて9名だったが、今年度は現時点で5名である。

心の落ち着ける場として学校内では保健室や支援室、町内では小規模多機能型居宅介護事業所「いろり」がある。

町外には、浦河町の「ひがし町診療所」や児童発達支援施設「ぶどうの木」があり、児童生徒の支援に加え、近隣町の保護者同士の交流も行われている。

教員やスクールカウンセラーによる家庭訪問では、本人や保護者と近況を話すなど信頼関係を深め、得た情報や学校での様子などを基に、職員会議や生徒指導委員会、さらに、月に一回程度、学校や町の関係者を含めた「ケース会議」で情報共有や対策などを検討している。

【高松】 今後の課題は。

【答弁】 保護者の仕事や諸事情を考慮した中で、ケース会議への出席、他町施設への送迎など、家庭・保護者との相互理解を深め、更なる連携・協力を図ることが必要と感じる。

【高松】 国は来年度から、不登校の兆候が見られる児童生徒のため「校内教育支援センター」を設置して支援員を配置した場合、その費用を補助する事業を始める予定である。

学級担任の負担軽減と、継続的できめ細かな対応が期待できるこの制度を活用しては。

【答弁】 制度の詳細に一部不明な点があり、明らかになった段階で前向きに検討したい。

「登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえ、社会的に自立を目指せるよう、個々に応じたきめ細かな支援と「楽しい」「行きたい」と思える学校づくりに努めていきたい。



えりも岬小学校と中学校は困りことや悩み相談ができる生活支援アプリも導入している

問 昆布おかまわり、町外募集も

答 難しいが関係機関と協議する

【高松】 おかまわりの求人募集を町のホームページに掲載したが、成立に至っていないのは。

【答弁】 募集した漁業者に聞き取りを行い、検証結果を踏まえ、来年度に向け改善点を探るべきと考える。

町外募集の検討も必要では。

【答弁】 12件の求人情報を掲載したが1件も成立に至っていない。

事後アンケートの結果、「問い合わせがあった」が9件、「来年度も募集したい」が8件、自由記載には「話はまとまったが当日来なかった」や「免許がなく断念した」等の記載があり、来年度は、早い時期に希望をとりまとめ、転入者の多い4月にはホームページに掲載できるように準備したい。

また、大学生向けのPRは来年度早々に行い、ポスター掲示を近隣町の観光施設に広げたり、札幌でのイベントでチラシを配布する。

町外募集は、住居の問題、昆布採取期間の長さに比べ実働日数が短いことなど、難しい面があるが交流人口の拡大や地域活性化を考えたときに重要であり、漁協など関係機関と協議・検討していく。



神田 修議員

映画製作の情報 早めの提供を

問

公開可能な情報を 広報紙で周知

答

【神田】 映画製作のクラシックインは2度にわたって延期となった。現在は令和7年の予定だが、現在の状況は。近況の説明が必要と思うが、6月と9月の行政報告がないのはなぜか。

【答弁】 広報7月号で延期を周知した。今後はクラシックインの時期や進捗状況を広報紙等で知らせる。

【神田】 映画製作担当の地域おこし協力隊員の中途離脱があったが、その経緯は。

【答弁】 当該協力隊員は6年4月に契約更新したが、6月1日付で退任の申し出があったため承認した。

【神田】 集まっている寄付金等の資金管理はどのようにになっているか。

クラシックインの長期化によって資金不足が発生することが考えられるが大丈夫か。

【答弁】 協賛金や出資金等は、映画製作準備委員

映画製作に向け、事前に場所や風景を撮影するロケハンが行われている(田中監督・左)



会事務局で適切に管理している。

現在3億4千万円を越える寄付金が集まっているが、引き続き資金集めを継続中である。

【神田】 色々な点で町民に対して早めに状況説明が必要と思うが町の対応は。

【答弁】 情報公開には慎重さが求められ、正式な公表が認められたものを順次お知らせしたい。

やまと苑の入所判定は

判定委員会が 入所要綱に基づき決定

答

【神田】 やまと苑の入所判定は、どのような手順で行われているか。

入所手続きや判定基準を広報紙で詳しく周知する考えはないか。

【答弁】 入所判定は、やまと苑職員、国保診療所・社会福祉協議会・町職員による年3回の

判定委員会での「入所要綱」に基づいて判断し、優先度を決定している。

手続きや基準は、施設を運営するえりも福祉会の判断で公表されるものであり、広報紙では周知できない。

【神田】 現在、入所待機者は何人で、施設の空き状況は。

【答弁】 入所待機者は26名で、空きベッドは1床だが近日中に入所予定である。

【神田】 他町の施設入所者で、やまと苑への入所を望んでいるが受け入れてもらえない例もあるようだが、入所手続きに関する説明や取り決め方はどうなっているか。

【答弁】 町は、家族等から入所希望の相談があった場合、やまと苑の現状や入所希望者本人の状況を把握し、必要な

多数の入居待機者がいる特別養護老人ホーム「やまと苑」



対応を行っている。地域包括支援センターや社会福祉協議会の居宅介護支援事業所、入所している老人保健施設、病院のケースワーカー等が、やまと苑と調整しながら説明対応している場合もある。

議会として次年度の「政策要望書」をまちへ提出



大西町長に要望書を手渡す石川議長
(9月20日)

1 保育業務のICT化を

近年、導入が広がっている保育所や幼稚園用のICTシステムは、業務の効率化につながり、保育士の業務負担が軽減するため、導入に向けた検討を。

2 悲恋沼遊歩道の補修を

当町が誇る観光資源の一つの悲恋沼遊歩道は、損傷が激しく立ち入りできないため補修を。

～ 以下「議員と語る会」で町民から要望があった事項 ～

3 交通弱者対策を

JRバスやハイヤーは、便数や料金などの面から気軽に利用できるとは言い難いため、町民が利用しやすい新たな交通手段の調査・研究を。(昨年も要望しているが、同じ内容で改めて要望)

4 越波の早期解消を

近浦から笛舞にかけての国道は、砂利混じりの波が頻繁に護岸や越波柵を越え、交通事故が発生する危険性もある。関係機関に働きかけ、一刻も早い解消を。

5 猿留川林道の橋の修繕と定期的な補修を

猿留川林道は、路面の凸凹が激しく、車の走行に支障をきたし、また、途中の橋が壊れており、管理している北海道に定期的な道路の点検・補修と橋の修繕を行うよう強く要望を。

6 ウニ種苗購入補助事業の継続を

令和3年に発生した赤潮の漁業被害対策として、ウニ種苗購入補助が令和4年度から行われ、令和7年度までの計画だが、ウニの生育状況は地区によって差があるため、補助の継続を。

7 東洋地区に遊具を

旧東洋小学校の遊具は、腐食が激しく利用できない。東洋生活館の敷地に新たな遊具の設置を。

8 漁業担い手支援補助金の見直しを

漁業担い手支援補助金の利用に当たり、漁業者から補助対象範囲の拡大を求める声が上がっているため、利用者側に立った制度の見直しを。

この人に聞く

北海道代表選手として
卓球の全国大会に出場

この人 ふうか
河野 楓花さん (10)



小学校1年生から卓球を始める。今年5月に開催された「全農杯北海道卓球選手権大会」の小学3・4年生の部女子シングルスで初優勝し、北海道代表として全国大会に出場。主にえりも・様似・浦河3町のスポーツ施設で週6日間練習に励む。

▼卓球を始めたきっかけは
東京オリンピックの卓球の試合をテレビで見っていた時に「お母さんも卓球をやっていたんだよ」と聞き興味

を持ちました。

また、伊藤美誠選手や日本代表選手の活躍する姿を見て自分もやってみたくて思いました。

▼卓球を始めて楽しかったことは
試合をすることと、大会などで道内外に友達ができることです。

▼難しいと思うことは
自分の思うように足や体が動かせなくて、良いボールが打てないことです。

もっと練習をして、イメージ通りできるようにがんばりたいです。

▼好きな選手は
伊藤美誠選手と平野美宇選手です。

▼試合前に必ず行うことは
ランニングなどのウォーミングアップを行い、試合の時にすぐ体が動くように心がけています。

▼これからの目標は
もっと練習や戦術を考えてできるようなりたくて、将来は卓球の日本代表選手になりたいです。

▼両親から一言
指導者や周りの人に対しての感謝の気持ちや忘れずに、目標に向かって努力し、みんなに応援してもらえたら嬉しいですね。



町民体育館で練習に励む楓花さん

「卓球が嫌いになったことは一度もありません」と、笑顔で答える姿がとても印象的でした。目標に向かって更なる飛躍を期待しています。
(取材 大場・嵯峨)

議会の動き

8月14日	えりもの灯台まつり海上安全祈願祭 (議長)
8月16日	えりもの灯台まつり灯籠流し (議長)
8月20日	議会広報研修会 (札幌)
8月23日	日高地区森林・林業・林産活性化推進議員連盟連絡会役員会・総会 (新ひだか町)
8月30日	第4回臨時会
9月9日	全員協議会
9月11日	議会運営委員会
9月19日	全員協議会 第5回定例会 ~20日 決算特別委員会 ~20日
9月20日	広報広聴常任委員会
9月24日	日高地区軽種馬産業活性化推進議員連盟連絡会総会 (日高町)
10月7日	広報広聴常任委員会 (16、22日)
10月22日	全員協議会 二常任委員会合同所管事務調査 議会運営委員会

議員雑感

昭和49年「何も無い春」と森進一が唄った「襟裳岬」はレコード大賞を受賞。

襟裳岬は空前の観光ブームになり、年間70万人もの観光客が訪れた。

あれから50年、襟裳岬の岩礁が連なる地形などが特徴の「日高山脈襟裳十勝国立公園」が誕生。

わが町にとって、関係人口・交流人口の増加が見込めるチャンスであり、官民一体となった環境づくりが求められている。

詐欺や闇バイトなどの犯罪のニュースが絶えず、見知らぬ人との交流が難しいこの頃ですが「遠慮はいらないから暖まってゆきなよ」という心も忘れたくないものです。
(上野)

広報広聴常任委員会

- 委員長 竹内 孝文
- 副委員長 上野 陽司
- 委員 高松 亮裕
- 中野 公浩
- 嵯峨 直樹
- 大場 文裕